

汲み取り作業時の臭い対策

現在、環境衛生部 収運課での業務車両として配備しているバキューム車のうち、最新型の2台を紹介したいと思います。

吉村興業のバキューム車には車輻毎に生物^{※写真1}が描かれています。今回紹介する2台にはそれぞれ、『クリオネ』と『ペンギン』が描かれ社員もその愛称で呼んでいます。描かれている生物以外にも、それまで配備されていた車輻と異なる点があります。それは、汲み取り作業時に発生する臭いを軽減する為の脱臭器の仕組みの違いです。

作業時の臭いを完全除去出来たらノーベル賞ものではないか？というような話も聞いたことがあるほど難しい問題です。企業としても様々な方法で「少しでも臭いを抑える」為の努力を行っています。

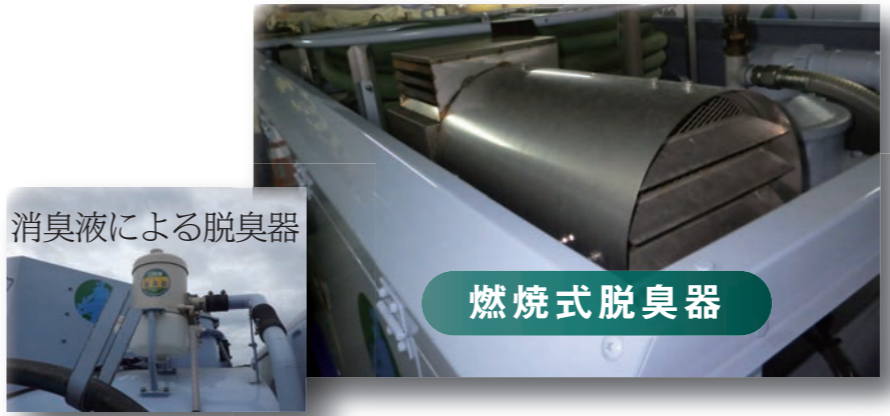
新型車輻2台には、それまでの「消臭液」による脱臭器ではなく、軽油により臭いを燃焼させて脱臭する”燃焼式脱臭器”を搭載しています。

実際、作業時にお客様より「嫌な臭いがしないね」と言われるようになりました。しかし、臭いの感じ方には個人差があるのも事実です。また、完全に臭いが無臭化するには至りません。

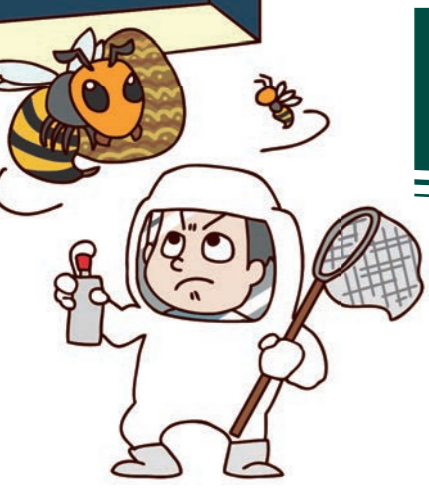
それでも吉村興業としては、少しずつでもお客様の満足がいただける様に改善に努めてまいりたいと思います。



各車輻にはイラストと愛称がカタカナで表示されています。弊社のバキューム車を見かけた際は観察してみてください！（全部分かりますか？）



ハチ退治・巣の駆除



最近、我が家のテラスでもアシナガバチの巣を発見しました。よく観察していると1匹のハチがどうも巣作りをしているようです。小さい時期に発見出来ると良いのですが、気づいた時には素人では手が出せない大きさになっている場合も多々あります。初夏から秋にかけて、ハチの活動も活発になりますので十分気を付けてください。

ハチの大量発生・蜂の巣を発見して、お困りの際はご連絡ください。昨年の駆除時の写真をご紹介します。




- スズメバチ**
駆除料金 15,000円（税抜）～
- アシナガバチ**
駆除料金 10,000円（税抜）～

お知らせ

ホームページをリニューアルしました。PC・タブレット・スマホなどの端末でも以前より統一感があり閲覧しやすくなりました。随時、実績や活動などの様々な情報を発信していきますので、ご覧になってください。



スタッフ紹介



氏名：重水 政則
(しげみず まさのり)

血液型：A B型
年齢 60歳

在籍：環境衛生部 収運課

居住地：東市来町

趣味：スポーツ
会社のソフトボールチームに所属。
梅マラソン参加など
特技：草刈り・日曜大工

自己PR：平成元年1月に入社して31年が経過しました。入社当初の担当業務は土木作業が主体でしたが、現在は収運課へ在籍しています。旧郡山町や伊集院町の汲み取り作業を自分なりに一生懸命頑張っています。これからも『吉村興業株式会社』共々どうぞよろしくお願いいたします。

6月第1土曜日・日曜日に地元の祭り「せつべとべ」に弊社から私を含め日吉在住の2名が参加しました。5月の連休後より始まった子供たちの鎌踊りの練習（指導）から始まり、様々な準備を経て迎えた6月1日の前夜祭！そして6月2日の祭り当日。その日が近づくにつれて荒れ模様へと移行してゆく天気予報。当日は朝から小雨がパラついており、その後は雷を伴う大雨の予報でしたが、奇跡的に午後からは雨も上がり、1日を終わることが出来ました。皆の『ショツでのまつりかた』が良く、絶大な効力を発揮したのでしょうか。（笑）TVや写真も良いですが、実際に見ないと伝わらないことが多いです。気になった方は来年は是非、御観覧ください。

■ おこり（由来）

◎お田植祭り「せつべとべ」が、いつ頃から始まったか記録がないので由来は不明であるが、文禄4年（1595年）日置島津三代常久が、八幡神社を日置総鎮守社と定め、ご神田9アール余りを寄付したことから考えると、これ以後のことかも知れない。或いは、それ以前から存在していたのが、これから一層盛んになったのかもしれない。江戸時代になり、時の権力者たちが、農民慰安のため、更に、この祭りを勧めたとも推定されています。

■ 「せつべとべ」踊りの意味

◎境内や御神田で飛び跳ねて泥んこになる「せつべとべ」は田植えがしやすいように（昔は実際に田植えが行なわれていたと伝えられる。）田んぼの土をこねらす意味と、田んぼの中の害虫を踏み潰す意味とがあり、神様に『こんなに一生懸命に土をこねらし、田植えをしますので、大豊作でありますように。』と祈願し、精一杯の元気で「せつべとべ」踊りをするのであります。

■ 「看板」と「しべ」（私の属す育成会での説明になります）

◎各集団（自治会）の印として団旗を持っているが、これを「看板」と称している。看板の文字は、それぞれ集団を表す文字が染め抜かれており、各集団とも10数mもの長い唐竹を選び、先端にこの看板を付けている。これを「団旗竿（だんきさお）」または「看板竿（かんばんさお）」といっています。

◎「しべ」づくりのことを「しべ起こし」と言い、祭りの一週間前につくる。材料は赤松であり、長さ85cm（二尺八寸）、幅3cm（一寸）ほどの角材をカンナで薄くすき起こし、アイロンや竹へらでそりを取り、3枚をくり、また別日に先端15cmほどを食紅で染めて自治会の文字を押印します。染め色も微妙に違い、集団のオリジナルカラーにもなっています。この「しべ」を看板と同じく、10数mの唐竹の先端につけている。これを「しべ竿」と言っています。

また、唐竹の「竹切り」と「しべ起こし」は同日に行い、その日は早朝から山に入り竹切り（実際には切るのではなくて、根から掘り起こします）公民館へ戻りその竹の加工作業を始めます。作業を進めていくと「しべ起こし」の準備から作業に移行して、終了するのは夕方になります。まだまだ、日は長いので「のんかた」の始まりです。

この頃になると祭りに向けて奮起してくるのか夜な夜な盛り上がりします。◎この「看板」と「しべ」の竿を祭りの当日は力自慢の青年たちが一人で、手のひらや肩などに乗せて、神社正面の石段を上り、また、御神田でも立てて運び、力と技の競い合いを披露します。（シャッターチャンスです）

◎お田植祭りの祭典が終わると、奉納の踊り（鎌踊りや棒踊り等）は、それぞれ地域内の公共施設や民家などを踊って回る。その際、「しべ」を魔よけとして家に配布します。

◎この「しべ」を家に飾っておくと、『一年中、蛇（へび）が家に上がってこない』と言い伝えられ、日吉では、どこの家でも、床の間の柱に飾る習わしがあります。

（日置市教育委員会資料を基に加筆してあります）



以前から気になっていた花尾神社近くの「杜の風」さん。外は閑静で店内はお洒落な雰囲気でした。そんな、杜の風オーナー様よりメッセージをいただいたので掲載します。



鹿児島市花尾町

その美しさから別名さつま日光と称される「花尾神社」の参道沿い、朱色の鳥居の下にあるランチと珈琲の小さなお店です。日頃の雑踏を少し忘れて、四季折々に変わる田園風景の中、杜からの心地良い風に吹かれながら、ゆっくりお過ごしなりませんか。

不定期ではありますが、ジャズやフォークのライブも開催しています。ブログでお知らせしますのでご覧ください。

鹿児島市花尾町 4197 番地 1
☎099-298-8701

営業時間 11:00 ~ 15:00
(定休日/火・水曜日)

鹿児島 杜の風 検索



編集後記

今回の記事（紙面）とは関係ないのですが、最近女子サッカーのワールドカップや男子サッカーの様々なカテゴリーでの世界規模の大会が多く、少し寝不足気味の日々を送っています。来年はいよいよTOKYO2020人生で一度きりのチャンスかと考えると、どれか一つでも実際に観戦したいと思う今日この頃です。まずは抽選に漏れていないことを祈ります！！

【お願い】 浄化槽の清掃の際に作業員が居なくても水道水をホースにより浄化槽内へ貯める作業があります。作業員が近くにおらず「水の止め忘れか」と思われた場合、先ずは弊社へご一報ください。



吉村興業株式会社

099-273-2528

【受付時間】 平日 8:30 ~ 17:00 まで
【URL】 <http://yoshikou-k.co.jp> 【Mail】 info@yoshikou-k.co.jp
※営業時間外は留守番電話での対応となりますので「お名前・電話番号」を確実に伝えてください。また、メールでの問合せはいつでも可能です。